

患者用クリニカルパス【鼻内手術（ESSD）を受けられる方へ】

日時	月 日	手術当日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	入院時（手術前日）	術前	術後	術後1日目	2日目	3日目	4日目	退院
処置	ネームバンドをつけます。 診察時鼻腔剃毛があります。	鼻に麻酔の綿を入れます。				鼻のガーゼを抜きます。朝食後に痛み止めを内服していただきます。	診察で鼻の中を洗います。	診察で鼻内処置（抜糸）をします。退院後は、朝・晩鼻の中を洗いましょう。（最低3ヶ月） 
検査	血液検査があります。（血液型） 			血液検査があります。 				
薬剤	持ってこられたお薬の服用の可否を医師に確認します。 お薬は医師の指示通り服用して下さい。 	手術室で点滴を行います。 	引き続き出血や炎症を抑える点滴を行います。 痛みが強いときは、痛み止めの坐薬を使います。我慢せず看護師までお知らせください。 	持続の点滴は朝で終了します。 （点滴の管はそのまま留置し、朝と夜に抗生物質の点滴に使用します。） 	朝と夜に抗生物質の点滴があります。 	本日の夜で抗生物質の点滴は終わりです。 夜の点滴終了後、留置している管を抜きます。 	抗生物質の内服が始まります。（1日間） 	医師の指示通りお薬を飲みましょう。 点鼻薬は1日1回使用します。 
活動	病院内は自由です。 	歩いて手術室まで行きます。	翌朝までベッド上での安静が必要です。尿の管が入らない場合、看護師が歩ける時間をお知らせします。それまではベッド上で安静にしてください。初回は看護師が付き添います。	病院内は自由です。 		鼻のガーゼを抜いてから1時間はベッドで静かに休みましょう。 		退院後1週間はできるだけ激しい運動は避けましょう。
食事	常食です。 場合により、治療食となります。 夕食まで食事ができます。 寝る前から絶食です。 	絶食です。（：～） 飲水制限の時間までに術前補水ドリンク（前日の夕食についてきます）を飲んでいただきます。 	手術後6時間後から水分をとることができます。初回は看護師がお手伝いします。 	全粥食です。 食べにくい場合は変更します。 	手術前の食事に戻ります。 			固いものは食べないようにしましょう。
排泄			手術室で尿の管を入れます。 尿の管が入らない場合、看護師が歩ける時間をお知らせします。それまではベッド上で安静にしてください。初回は看護師が付き添います。	歩けるようになれば尿の管を抜きます。 初回は看護師が付き添います。 				
清潔	制限はありません。	手術前に入浴します。男性の方は髭剃りをしっかり行ってください。入浴後は手術着に着替えます。 	手術後4時間後よりうがいができます。 夜には顔を拭くタオルをお持ちします。 	入浴はできません。お体を拭くタオルをお渡しします。その後パジャマなどに着替えます。 毎食後にうがいをしましょう。 		シャワーができません。 	鼻汁はためないようにしましょう。鼻をかむ時は、片方ずつゆっくりかみましょ。う。（1ヶ月程度） 入浴できます。長い時間の入浴は避けましょう。	
説明指導	看護師から入院生活・手術について説明します。 担当医師の診察、入院後の治療計画（手術）について説明があります。 手術承諾書を提出してください。 禁煙を心がけましょう。 入院されている間に、薬剤師から薬についての説明があります。   	手術に行くまでに、入れ歯・眼鏡・コンタクトレンズ・指輪・時計などは、はずしておきましょう。 肺塞栓症予防のストッキングを履いておきましょう。	出血がひどい、目が腫れた、物が見えない、ひどい頭痛、吐き気などの異常があれば看護師にお知らせください。 口の中の血液は飲み込まないようにしましょう。 鼻の入口の綿球が汚れたら、交換しましょう。（鼻の奥のガーゼは触らないでください。） 			ガーゼを抜いた後、出血するようであれば看護師にお知らせください。 	退院後の鼻の中を洗う方法のビデオを観ます。 退院後の生活について説明をします。	指示通り外来受診して下さい。鼻の粘膜が出来上がるまで約3ヶ月かかります。 その間、お酒・タバコは控えましょう。 退院後1週間は、綿球がマスクをしましょう。  
その他	手術までにご準備ください。★ 曲がるストロー・コップ（又は吸い飲み） ※手術着は病棟よりお貸しします。			◎その他必要物品は入院時のしおりをご参照下さい◎				

※病状に応じて、予定が変更になる場合があります。ご不明な点がございましたら、看護師におたずねください。

京都第二赤十字病院 耳鼻咽喉科